

ひふみのあゆみ

ひふみ投信 追加型投信/内外/株式

2020年12月度 月次ご報告書

レオス・キャピタルワークスよりお客様へ
資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、ありがとうございます。
運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。

ひふみ
INW

ひふみ投信



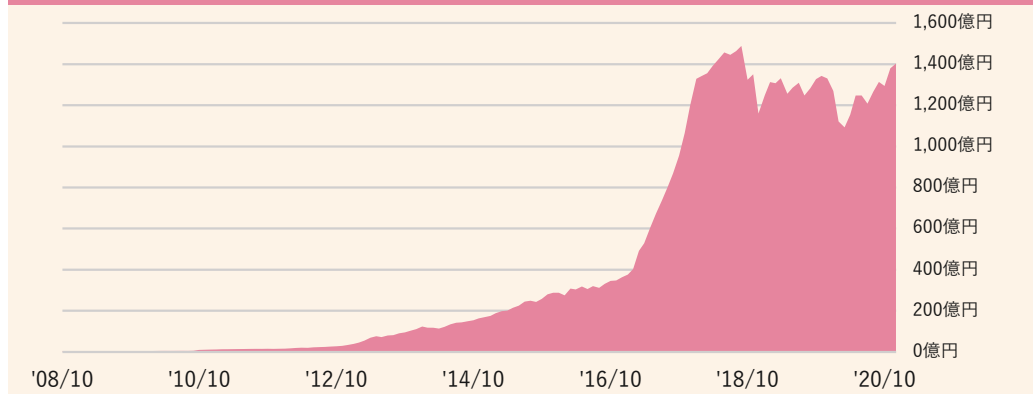
作成基準日：2020年12月30日

運用実績

基準価額の推移（日次）



純資産総額の推移（月次）



運用成績

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ひふみ投信	1.90%	8.10%	18.86%	20.52%	16.38%	503.51%
TOPIX	2.97%	11.19%	16.94%	7.39%	6.58%	115.00%

ひふみ投信の運用状況

基準価額	60,351円
純資産総額	1,402.60億円
受益権総口数	23,240,682,747口

ひふみ投信 投資信託財産の構成

ひふみ投信 マザーファンド	100.01%
現金等	-0.01%
合計	100.00%

分配の推移（1万口当たり、税引前）

第12期	2020年9月	0円
第11期	2019年9月	0円
第10期	2018年10月	0円
第9期	2017年10月	0円
第8期	2016年9月	0円
第7期	2015年9月	0円
設定来合計		0円

※当レポートで言う基準価額とは「ひふみ投信」の一万口あたりの値段のことです。また信託報酬控除後の値です。

※ひふみ投信の当初設定日の前営業日（2008年9月30日）を10,000円として指数化し、基準価額とTOPIXのグラフや設定来の運用成績の表を作成しています。

※TOPIXは、全てTOPIX（配当込み）を用いています。TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。TOPIXとは東証株価指数のことで、東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額（株数×1株当たり時価）の合計を指数化して算出され、日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。TOPIX（配当込み）とは、配当収益を考慮して東京証券取引所が算出・公表している指数です。

※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入銘柄比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「受益権総口数」とは、お客様に保有していただいている口数合計です。

※ひふみ投信は分配金再投資専用の投資信託です。

※ひふみ投信は、ひふみ投信マザーファンド（親投資信託）を通じて実質的に株式へ投資しています。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

資産配分比率などの状況

ひふみ投信マザーファンドの状況	
純資産総額	6,382.43億円
組み入れ銘柄数	260銘柄

市場別比率	
東証一部	77.65%
東証二部	1.80%
マザーズ	5.76%
JASDAQ	1.74%
その他海外株	12.27%
現金等	0.78%
合計	100.00%

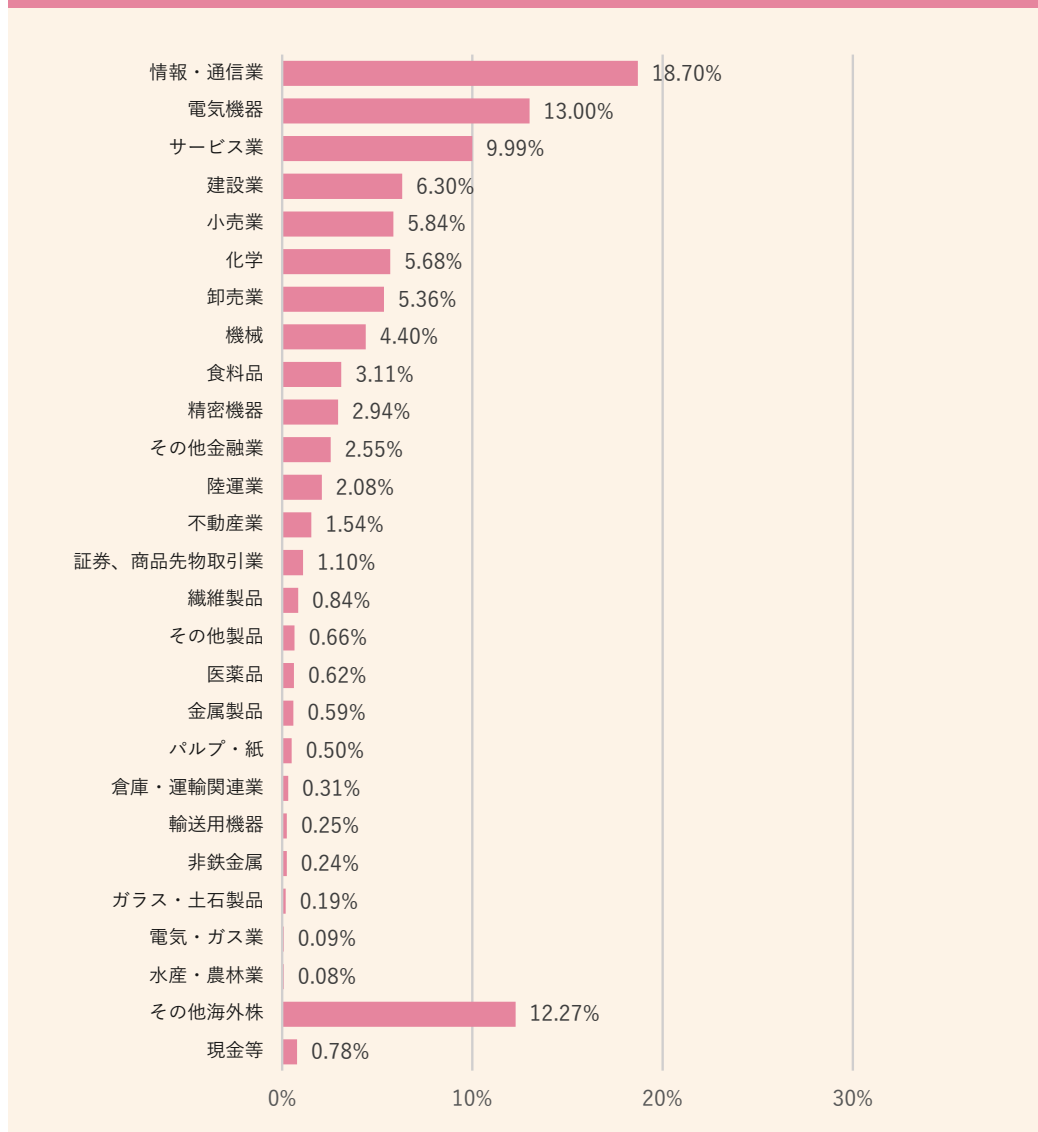
資産配分比率	
国内株式	86.95%
海外株式	11.37%
海外投資証券	0.89%
現金等	0.78%
合計	100.00%

※「資産配分比率」「市場別比率」「業種別比率」はマザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「資産配分比率」の株式には新株予約権を含む場合があります。「海外投資証券」はREIT（不動産投資信託）等です。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

業種別比率



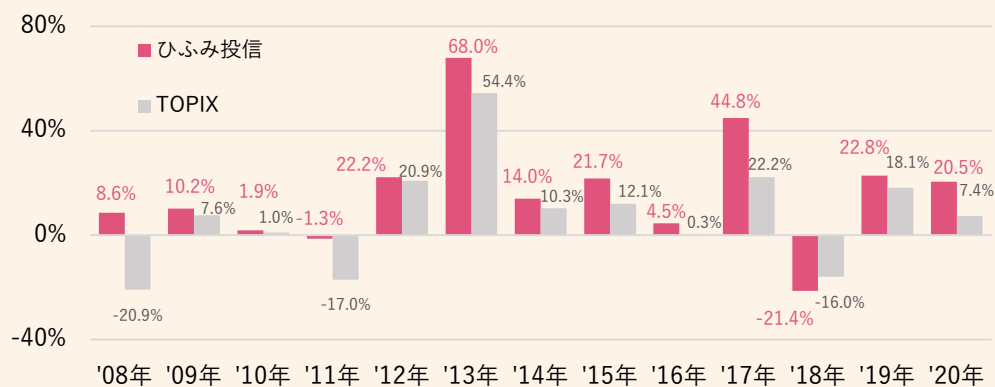
※業種別比率について：東証33業種分類を用いて表示しています。非保有の業種は表示されません。

また海外株式、海外投資証券については「その他海外株」として表示しています。



ひふみ投信と市場の比較

各年の収益率

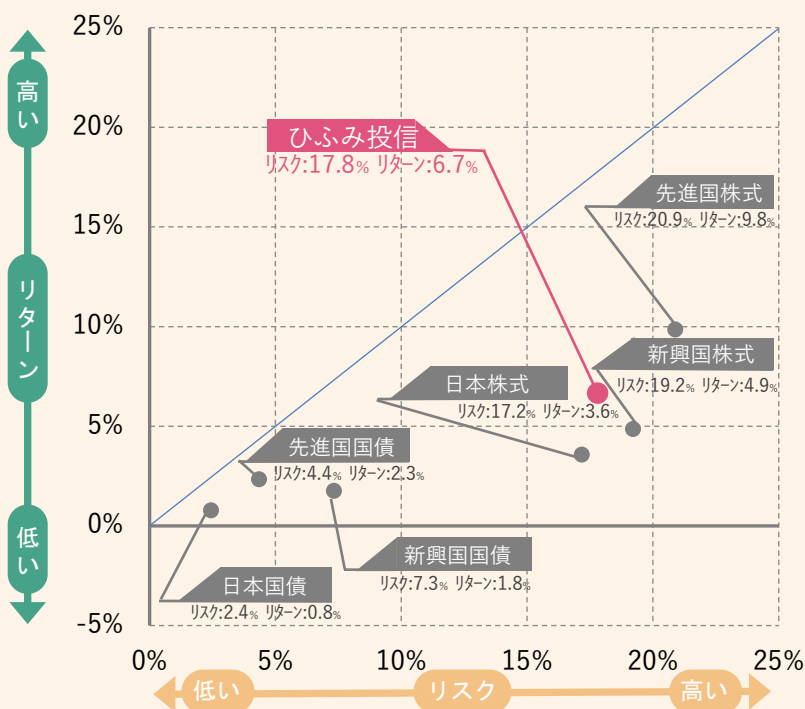


※各年の収益率について：暦年ベース、2008年は9月末から年末まで、当年は作成基準日（レポート1ページ目右上をご覧ください）まで。

※ひふみ投信と主要資産のリスクリターンについて：作成基準日（レポート1ページ目右上をご覧ください）を起点として過去36ヵ月間のひふみ投信および主要資産の月次リターンを元に年率換算したリスクとリターンを算出しグラフを作成。

※各年の収益率とひふみ投信と主要資産のリスクリターンの各値は、小数点第二位を四捨五入して表示しています。

ひふみ投信と主要資産のリスクリターン（過去3年間）



解説：リスクリターンとは？

国や地域、業種や特性の違う様々な資産に投資をする際に、最も重要視される尺度がリスクとリターンです。リスクリターン値（ここではリターンを分子に、リスクを分母にして割った値とします）は高ければ高いほど、スマート（効率的）に運用成果を得ることができたと理解されます。当ページのリスクリターン表においてはより左上にいるほうが、「リスクはより低く、リターンがより高かった」、よりスマートな投資ができたということになります。

解説：リスクとは？

投資や統計の世界において、リスクは「どのくらい危険か（どのくらい下落するか）」ではなく、「どのくらい不確実か、ブレるか（値動きが上下するか）」を表す尺度です。詳しい方には値動きの標準偏差というと伝わるでしょう。どんなに素晴らしい会社の株式でも、未来は不確実である以上、景気や投資家の思惑など様々な要因で株価は上下を繰り返します。そして同じ期間で同じだけ投資成果の出た2つの企業の株価でも、期間中の値動きは異なります。これが大きい小さいかを数字で示すのがリスクです。言い換えれば様々な金融商品の、過去一定期間の値動きの大きさ小ささを計測した値であり、未来の投資収益における不確実性（価格変動の大きさ）の目安になる参考指標がリスクと言えます。

※過去の実績は将来の収益を保証するものではありません。

ひふみの主な受賞歴

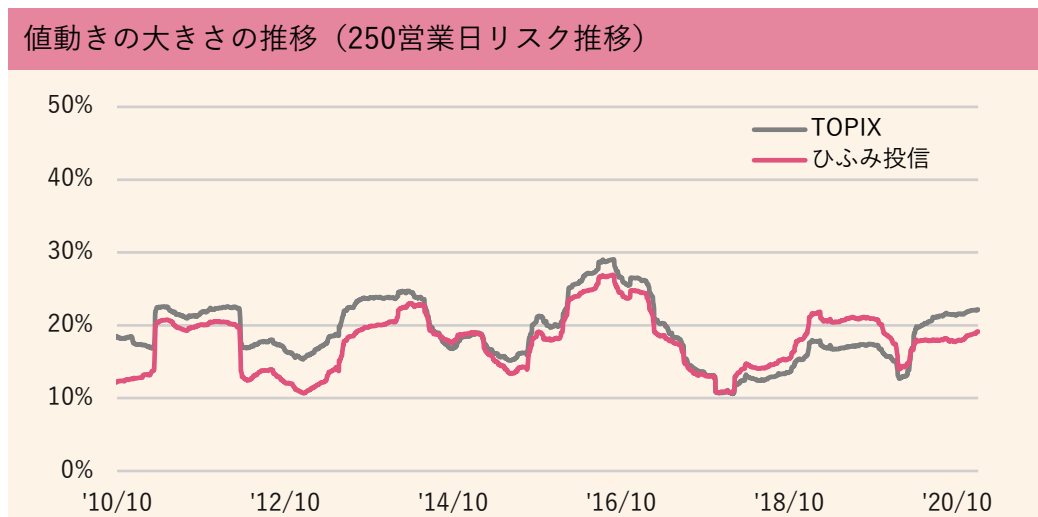


GOOD
DESIGN



受賞年	受賞詳細
2020年	R&I ファンド大賞 2020 投資信託10年/国内株式部門 最優秀ファンド賞
2019年	R&I ファンド大賞 2019 投資信託10年/国内株式部門 最優秀ファンド賞
2018年	R&I ファンド大賞 2018 NISA/国内株式部門 優秀ファンド賞
2018年	投信ブロガーが選ぶ！Fund of the Year 2017 第6位
2016年	グッドデザイン賞

時価総額別比率		アクティブシェア	
大型株（3,000億円以上）	43.21%	86.71%	
中小型株（300億円以上、3,000億円未満）	50.26%		
超小型株（300億円未満）	5.75%		
現金等	0.78%		
合計	100.00%		



※ひふみのあゆみで使用している指数
TOPIXまたは日本株式=TOPIX（配当込み）
先進国株式=S&P Developed Ex-Japan BMI（JPY）（ヘッジなし・円ベース）
新興国株式=S&P Emerging BMI（ヘッジなし・円ベース）
日本国債=FTSE日本国債インデックス
先進国債=FTSE世界国債インデックス（除く日本、国内投信用、ヘッジなし・円ベース）
新興国債=FTSE新興国市場国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）
※新興国株式、新興国債については、レオス・キャピタルワークスが米ドルベースの指数を円換算しています。
※各指数はレオス・キャピタルワークスが、当資料作成時点取得した数値を採用しています。
※指数の権利表記
FTSE日本国債インデックス、FTSE世界国債インデックス、FTSE新興国市場国債インデックスは、FTSE Fixed Income Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income Index LLCまたはその関連会社は、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っていません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income Index LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負

いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income Index LLCに帰属します。
※R&Iファンド大賞について
「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。R&Iファンド大賞2020の「投資信託10年部門」では、2015、2020年それぞれの3月末における5年間の運用実績データを用いた定量評価および2020年3月末時点における3年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位75%に入っているファンドに関して、2020年3月末における10年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰しています。定量評価は、「投資信託10年部門」ではシャープ・レシオを採用しています。表彰対象は償還予定日まで1年以上の期間を有し、「投資信託10年部門」では残高が30億円以上かつカテゴリ内でも上位50%以上の

条件を満たすファンドとしています。「投資信託10年部門」は確定拠出年金専用ファンド、SMA・ラップ口座専用ファンドを除く国内公募追加型株式投資を対象としており、いずれも基本的にR&Iによる分類をベースとしています。

※投資ブロガーが選ぶ！Fund of the Year 2017について
投資ブロガーが選ぶ！Fund of the Year 2017は、投資ブロガーの投票を運営委員会が集計したランキングです。2017年10月31日までに設定された投資信託（ETF含む）で、海外ETFについては、日本の証券会社を通じて買付可能なものを対象としています。

※2016年度グッドデザイン賞について
グッドデザイン賞では有形無形を問わず、様々な物事を応募対象として受付し、2016年4月6日から2016年6月1日までにウェブサイトを通過して応募する対象が審査対象となります。すべての審査対象の中から、グッドデザイン賞は、くらしや産業や社会の質を向上させる優れたデザインと認められるものに贈られます。「Gマーク」は、グッドデザイン賞事業の主催者である公益財団法人日本デザイン振興会が管理する知的財産権です。

※アクティブシェアについて：基準日時点のTOPIXと比較

解説：アクティブシェアとは
ポートフォリオがベンチマークとどれだけ異なっているかを示します。アクティブシェアは0%～100%の間の数値で100%に近いほど、ベンチマークと異なるポートフォリオであることを示します。TOPIX（配当込み）はひふみ投資マザーファンドのベンチマークではございませんが、参考として算出しています。

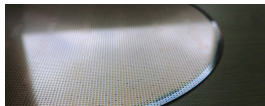
※値動きの大きさの推移について：設定来の日次リターンを基に過去250営業日のリスク（日次リターンの標準偏差の年率換算値）の推移を表示したものです。

解説：リスクの推移の意味
ひふみ投信とTOPIXのリスク量を比較して分かる事は、簡単に言えば「どのくらいアクセルを踏んでいるか」ということです。アクティブ運用の投資信託は市場環境等に応じて中身（ポートフォリオ）を変化させます。より値動きが大きくなっても上昇機会を得られるとして中身を変化させると、リスクの値は高くなるでしょう。ひふみ投信は概ねTOPIXよりも低いリスクを維持しており、安定的な値動きの運用を目指していることが分かります。

※株式市場への値動きの連動性について：設定来の日次リターンを基に過去250営業日の対TOPIXとひふみ投信のベータ値の推移を表したものです。

解説：ベータの推移の意味
上記のグラフにおけるベータは、TOPIXに対してひふみ投信がどのくらい連動するかを表します。仮に0.8のとき、TOPIXが1上がると、ひふみ投信は0.8程度の上昇が見込まれます。逆にTOPIXが1下がると、ひふみ投信は0.8程度の下落に留まると見込まれます。

銘柄紹介（基準日時点の組入比率1~10位）

	銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
	企業ロゴ等	銘柄紹介				
1	東京センチュリー 	8439	大型	東証一部	その他金融業	2.12%
		みずほFG、伊藤忠商事などを母体とする会社。競合他社の参入が難しいとされる航空機、環境エネルギー、不動産事業に積極的に取り組むことで、成長を目指す。				
2	ソニー 	6758	大型	東証一部	電気機器	1.61%
		PS5発売に伴うハードウェア売上や、4,500万人を超えるPlayStation Plus（ゲームサブスクリプション）会員、堅調な金融事業、スマホカメラの多眼化によるCMOSイメージセンサーの需要増などを背景に好調な業績が期待される。				
3	ショーボンドホールディングス 	1414	中小型	東証一部	建設業	1.55%
		橋梁やトンネルといった道路構造物をはじめとするインフラの補修・補強を行なう。日本全国で進行している公共インフラ老朽化の対策を担う。				
4	J TOWER 	4485	中小型	マザーズ	情報・通信業	1.54%
		建物内の携帯電話設備を一本化するサービスを主軸に、屋外通信鉄塔のインフラシェアリングも手掛ける。従来、事業者ごとに1本ずつ立てる必要のあった自前設備を共用することで、建設や運用にかかるコストを削減し、5Gの導入促進に貢献する。				
5	BILIBILI INC ADR 	BILI	大型	NASDAQ	その他海外株	1.47%
		中国の動画サイト。アニメ、コミック、ゲームなどのコンテンツ（ACG）や動画配信システムは若者に大人気。今後、若者のプラットフォームとしてコンテンツのジャンルがさらに多様化することで、広告などの収入増が期待される。				
6	村田製作所 	6981	大型	東証一部	電気機器	1.42%
		テレビ、パソコン、スマートフォンなどの電子機器に欠かせない電子部品を製造・販売する京都企業。主力製品であるコンデンサは5G時代を支える電子部品として重要度を増している。				
7	S H I F T 	3697	中小型	東証一部	情報・通信業	1.33%
		ECサイトや新作ゲーム、会計システムなどのソフトウェアに不具合がないことを確認するソフトウェアテスト業務を受託する。ソフト開発段階や開発後の運用段階におけるサポートにも事業領域を拡大。年間売上高が10億円を超える企業からの受注を増やしている。				
8	東京応化工業 	4186	大型	東証一部	化学	1.29%
		半導体製造過程でシリコンウエハー状に回路を形成するのに欠かせない感光性樹脂（フォトレジスト）等の製造が主力のグローバルトップメーカー。5ナノ以下の配線幅へ挑戦中。				
9	あい ホールディングス 	3076	中小型	東証一部	卸売業	1.28%
		情報機器、セキュリティ機器、設計事業、カード発行機器を主力とする。セキュリティ機器がコロナ禍で苦戦するも、今後は更新需要が期待される。				
10	ミライト・ホールディングス 	1417	中小型	東証一部	建設業	1.28%
		NTTをはじめとする電気通信事業者向けの配線工事を手掛ける。IoTの普及や大規模サーバ施設の増加で得意事業領域の工事案件が豊富。5G通信網の敷設工事拡大にも期待が集まる。				

※規模は作成基準日時点の時価総額と以下の区分に基づき作成しています。

大型（3,000億円以上）、中小型（300億円以上、3,000億円未満）、超小型（300億円未満）

※「組入比率」はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

銘柄紹介（2020年9月30日時点）

	銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
1	ショーボンドホールディングス	1414	中小型	東証一部	建設業	1.88%
2	S H I F T	3697	中小型	東証一部	情報・通信業	1.54%
3	東京センチュリー	8439	大型	東証一部	その他金融業	1.43%
4	アマノ	6436	中小型	東証一部	機械	1.29%
5	協和エクシオ	1951	大型	東証一部	建設業	1.25%
6	Zホールディングス	4689	大型	東証一部	情報・通信業	1.22%
7	ソニー	6758	大型	東証一部	電気機器	1.22%
8	富士通	6702	大型	東証一部	電気機器	1.17%
9	ジャフコ	8595	中小型	東証一部	証券、商品先物取引業	1.17%
10	プレミアムウォーターホールディングス	2588	中小型	東証二部	食料品	1.16%
11	アンリツ	6754	大型	東証一部	電気機器	1.16%
12	あい ホールディングス	3076	中小型	東証一部	卸売業	1.16%
13	ミライト・ホールディングス	1417	中小型	東証一部	建設業	1.15%
14	光通信	9435	大型	東証一部	情報・通信業	1.12%
15	セリア	2782	大型	JASDAQ	小売業	1.09%
16	インフォコム	4348	中小型	東証一部	情報・通信業	1.05%
17	トリケミカル研究所	4369	中小型	東証一部	化学	1.03%
18	日本瓦斯	8174	中小型	東証一部	小売業	1.02%
19	DOMINO'S PIZZA, INC.	DPZ	大型	NYSE	その他海外株	1.02%
20	丸和運輸機関	9090	中小型	東証一部	陸運業	1.02%
21	九電工	1959	中小型	東証一部	建設業	1.02%
22	村田製作所	6981	大型	東証一部	電気機器	1.00%
23	シスメックス	6869	大型	東証一部	電気機器	0.99%
24	イビデン	4062	大型	東証一部	電気機器	0.99%
25	ダイキン工業	6367	大型	東証一部	機械	0.99%
26	S Gホールディングス	9143	大型	東証一部	陸運業	0.98%
27	ZOOM VIDEO COMMUNICATIONS	ZM	大型	NASDAQ	その他海外株	0.97%
28	三浦工業	6005	大型	東証一部	機械	0.97%
29	AMERICAN TOWER CORP (海外投資証券)	AMT	大型	NYSE	その他海外株	0.97%
30	NEW ORIENTAL ADR	EDU	大型	NYSE	その他海外株	0.95%

※規模は以下の区分に基づき作成しています。

大型（3,000億円以上）、中小型（300億円以上、3,000億円未満）、超小型（300億円未満）

※「組入比率」はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

12月の株式市場は、前月の大幅高の反動や新型コロナウイルス感染拡大の影響から上値が重かった一方、ワクチン供給期待などから下値も底堅く狭いレンジ内での小動き商状が続きました。終盤には一段高の展開となり、月末の日経平均株価は前月比3.8%高の27,444.17円に続伸し、1990年8月以来の高値をつけて年末を迎えました。

12月の日経平均株価は方向感に欠ける展開が長らく続きました。米大統領選前後から蚊帳の外となっていた米国の追加景気刺激策に関しては与野党の協議が再開、超党派の案を与野党が支持する姿勢を示したことで、にわかに合意期待が高まりました。また米ファイザーらが手掛けた新型コロナウイルス向けワクチンの使用を英国が承認するなど、ワクチンの接種開始期待も高まりました。しかし株式市場は前月にグローバルで大幅高を演じた反動もあってか上値も重く、膠着状態が続きました。

月半ばに差し掛かると、遂に英国で世界初となる新型コロナウイルス向けワクチンの接種が開始されたほか、米国当局からも同ワクチンの使用許可が下りました。しかしその一方で新型コロナウイルスの感染者数は増加の一途を辿り、米国カリフォルニア州が夜間外出を禁止するなど欧州以外でも再び行動制限の動きが広がり始めるなど、ワクチンに対する期待と行動制限による実体経済懸念の綱引き状態となり、結局、株式市場は一進一退推移となりました。それでも、米国ではファイザーに続きモデルナのワクチンの使用許可も下りるなどワクチンの普及期待が一段と高まったほか、FOMCでは追加緩和こそ見送られたものの、FRB議長からは「景気回復が鈍れば資産購入を増やす可能性」など株式市場をフォローする発言が聞かれ、米国株式指数は小幅に最高値を更新していきました。

そして月後半に入ると、長らく平行線を辿っていた追加景気刺激策に関しても漸く与野党で合意、上院下院の議会も通過し、残るはトランプ大統領の署名のみとなりました。大統領は現金給付の増額を求めて暫く署名を拒否していましたが、年末に差し掛かったタイミングで漸く署名しました。これを受けて安心感が広がったのか、29日に日経平均株価は月初から頭を抑えられていた27,000円手前の水準を上抜けると一気に上げ幅を拡大し、年初来高値を更新して年末を迎え、年間パフォーマンスは16.0%のプラスとなりました。またマザーズ指数は年後半に大きく失速したもののコロナ禍で急速に買い進められた結果、年間パフォーマンスは33.3%高となっています。今年はコロナ禍でも業績が堅調に推移したハイテク関連の上昇が顕著に見られ、米国株式市場ではハイテク株の構成比率が高いNASDAQ指数が年間で43.6%と急騰、リーマンショック翌年の2009年以来の上昇率を記録しました。



トレーディング部長
岡田 雄大

※組入比率など運用についての記述は、すべてひふみ投信マザーファンドに関するご説明です。

※当資料では「ひふみ投信マザーファンド」のことを「ひふみ」と略する場合があります。

12月の市場は東証株価指数（TOPIX、配当込み）は2.97%の上昇、それに対してひふみ投信は1.90%と1%程度下回りましたが、2020年1年を通じるとそれぞれ7.39%、20.52%と13%以上も大きく上回り、1年を通じては非常に良好な結果を出すことができました。それもひとえにお客様皆様の支えがあったからこそだと思います。

この1年間は、新型コロナウイルスの蔓延による世界的な大困難な1年であったと思います。12月に入りコロナの第3波が広がりつつあり、日を迫うごとに感染者が増え、1都3県で緊急事態宣言が発出されることも予定されています。そのような中で、第2波と第3波にかけて一時感染者の数が減ったこととワクチンの開発のニュースで景気敏感株が上昇し、成長株が売られていく展開になりました。しかし、足元にいたっては、再度の感染者の増加により景気後退懸念が強まったことによって景気敏感株が売られ始め、再度成長株に資金が戻りつつあります。

これから足元の感染者数の拡大と、半年から1年後にかけてワクチンが普及して感染者数が縮小する予想との間で、板挟みの相場が続いていくでしょう。市場動向としては神経質な相場に移行していくと考えています。そのような神経質な相場で重要なのは大局観です。足元の細かいセンチメントの変化にとらわれず、おおらかにきちんと成長できる会社を発掘するかどうか重要であり、それはそもそもひふみの強いところでもあります。

2021年も引き続き目線を上げて、お客様のために全力を尽くしますので、何卒ひふみ投信をよろしくお願いいたします。



代表取締役 会長兼社長
最高投資責任者
藤野 英人

※組入比率など運用についての記述は、すべてひふみ投信マザーファンドに関するご説明です。

※当資料では「ひふみ投信マザーファンド」のことを「ひふみ」と略する場合があります。



大規模緩和下の業績回復、強気相場に弾み

ワクチン普及で牽引役が変化しそうな年後半相場

新型コロナウイルスの感染拡大で急落した世界の株式市場は2020年4月以降、V字型回復・上昇相場を辿ってきました。それを支えた原動力は①過剰マネー（大規模金融緩和）、②所得補償や資金繰り支援をはじめとする積極的な財政支援（大規模財政出動）、③2020年半ば以降の世界景気・企業業績の回復にあったと推察されます。特に大規模緩和・過剰マネーが牽引役を果たしたと考えられます。2021年前半も世界規模で新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で、基本的に上記の構図が継続し、強気相場に弾みがつくと予想します。

待望の新型コロナウイルスワクチンの開発が進み、製薬大手のファイザー、モデルナ、アストラゼネカなどが開発した新型コロナウイルスワクチンの接種が英国や米国、ドイツなどで始まり、今後、日本においても2月後半に開始される予定です。今年後半以降、新型コロナウイルスワクチンが世界に幅広く普及することが予想されます。そうなれば、「経済の正常化」期待が高まるでしょう。大規模な金融緩和政策や財政政策も打ち止め観測が出てくるとみられます。そのため、2021年後半以降、世界の株式市場は牽引役がそれまでの「大規模緩和・過剰マネー」から、「実体経済の好転・業績拡大」にシフトするとみられます。こうした市況性格の変化が比較的円滑に進めば、大崩れすることなく上昇相場を維持されそうですが、これまで牽引役の交代期には「調整相場（中間反落）」を交えることが多々ありました。先行きを占う上で、1月20日に誕生する米国のバイデン政権の内政・外交政策（特にコロナ抑制と経済立て直し）や、FRBの金融政策がカギを握るでしょう。

主要国の金融政策は、昨年12月の政策決定会合で大規模緩和の継続（長期化）を明示しました。ワクチン普及は光明ですが、世界規模で新型コロナウイルスの感染者数は拡大が続いており、大規模緩和の早急な打ち止めには至らないと推察されます。また、財政政策面では、米国が約9,000億ドルの追加経済対策（国民1人当たり600ドルの現金給付、失業給付の加算週300ドル、中小企業向け支援、医療体制の整備など）を昨年末に決定しました。日本も1月18日召集予定の通常国会で政府が2020年度第三次補正予算案（追加歳出19.1兆円）の早期成立を目指す姿勢です。主要国では、仮に新型コロナウイルスの感染拡大などで経済に下ブレ圧力が強まる場合、追加経済対策（金融緩和、財政出動）に動くと考えられます。

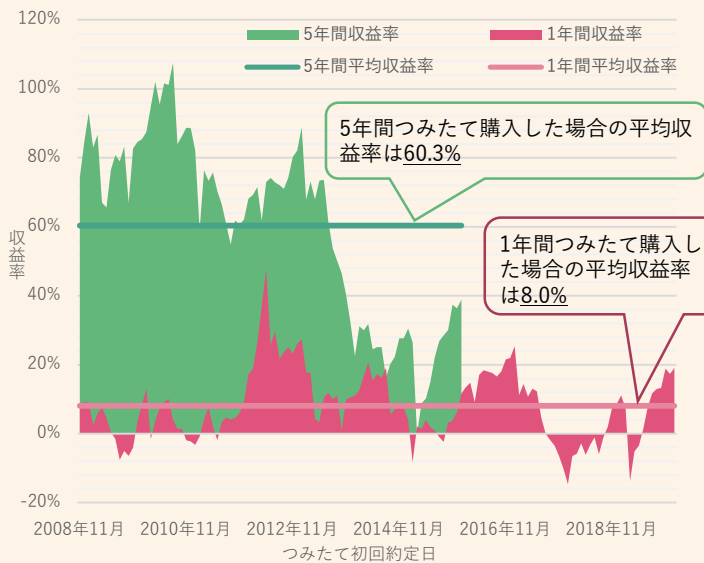
実体経済面ではこれまでの大規模政策の効果もあって主要国の景気循環（在庫循環）は2020年半ばをボトムに新たな拡大局面入りの様相です。世界経済や技術循環の代理的指標でもある「世界半導体出荷額（シリコンサイクル）」は拡大基調が鮮明になってきました。主要国企業の12ヵ月先予想EPSは2020年半ばをボトムに回復・拡大局面です。2021年度の税引増益率は米S&P500が前年比+22%、TOPIXが同+34%と急回復に転じそうです（FactSetのコンセンサス予想）。コロナ禍で企業はコスト削減を進め、収益体質を強化していますので、経済の正常化で売上が伸びはじめると、業績上方修正が広がりそうです。

このように今年前半の投資環境は大規模金融緩和下で景気・企業収益の改善が進み、感染拡大ならば追加経済対策の可能性を内包する一種のスイートスポットにあると考えられます。また、物色面ではバイデン政権の誕生を契機に世界の歯車が大きくグリーン化・環境重視に回り始めたと考えられます。日本の菅政権も将来を見据えた経済政策の柱として、デジタル化とグリーン化をテコに民間投資を引き出し、経済活性化を図るスタンスです。主要各国ともほぼ共通してこうした2つを経済成長の推進役に据える動きが鮮明になってきました。世界の株式市場ではデジタル化とグリーン化関連株が主役を演じそうです。

(1月5日)

長期投資の方がパフォーマンス上も有利になる可能性が高い！！

ひふみ投信を同じタイミングから1年間・5年間つみたて購入した場合のパフォーマンス比較



※期間：2008年11月12日～2020年12月14日 当社作成

※各月5日(休日の場合は翌営業日)を引き落とし日とし、5営業日後を約定日(休日の場合は翌営業日)として月1回つみたてした場合の、それぞれの収益率を試算しています。

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※当資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、当社が保証するものではありません。

※当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

運用メンバーからのメッセージ

毎月、トピックを用意して運用本部のファンドマネージャー・アナリストのコメントを集めています。多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

今月のトピック

今年の抱負を教えてください。



Fujino Hideto
藤野 英人
代表取締役会長兼社長
最高投資責任者

ひふみに全力を尽くすと同時に、社会や社員のひとたちが健康で頑張れる環境を作ることが大事だと思います。



Yuasa Mitsuhiro
湯浅 光裕
代表取締役副社長
運用本部長
未来戦略部長

2021年はいろいろとチャレンジをする年になります。新型コロナウイルス、変異種が拡大する異次元の中で世界企業の調査、運用に全力を尽くす。債券運用を含めた低リスクで安定的な資産運用環境をできるだけ多くのお客様にお届けする。レオスらしさ、これまでにない投資運用会社を体現、表現し、現在、未来の仲間達と共にしっかりとお客様にお伝えするキックオフ年とする。がんばりま〜す！



Watanabe Shota
渡邊 庄太
株式戦略部長
シニア・アナリスト
ファンドマネージャー

まずは健康・安全であることがすべての土台になると思います。そのうえでWithコロナの現状に冷静に向き合いながら、従来の株式投資ファンドだけでなく、バランスファンドや各種セミナー企画などを通じて、レオスらしい多様な付加価値をお客様へお届けしてまいりたいと思います。



Yatsuo Hisashi
八尾 尚志
シニア・アナリスト

私にとってファンドのリターン向上に邁進するのはごく当たり前のことなのですが、今年は例年以上に「全ての土台は健康である」ということを意識しています。運用という職業はともすればデスクワークだと見られがちですが、一方で体力がなければ（思考が）続かないこともまた事実であり、特にコロナ禍ではその点が大切です。そのためにも体力をつけるべくランニングは欠かさず続けていくつもりです（個人的にはスマートシューズを導入して「自分の走りが見える化されている」のが楽しいのです笑）。



Sasaki Yasuto
佐々木 靖人
シニア・アナリスト

若い頃、業界の40代の先輩に「高リターンを出すにはどうしたらいいですか？」と聞いたら「健康」と即答されました。はぁ？何言ってんすか？感を丸出しで「あ、そうなんすねー（棒）」と言ったものの、ここ数年で先輩と全く同じ意見を持つに至りました。特に年初に抱負など設定しませんが、毎日健やかであり続け、リターンの向上に努めます。今年もよろしくお願いします。



Wei Shanshan
韋 珊珊
シニア・アナリスト

今年も引き続きポテンシャルのある銘柄を発掘し、微力ながらも皆様の資産形成に貢献していきたいと思っています。長期投資家として常に長期目線をもって、企業や人(自分も含む)へ投資することに心掛けています。

運用メンバーからのメッセージ



Takahashi Ryo
高橋 亮
シニア・アナリスト

新型コロナのせいで引き続き制約の多い状況ですが、それでも工夫をしながら様々な人々対話を続け、良い銘柄の発掘を続けていきたいです。また、個人的にはコロナ禍で30年ぶりに再開したラジコンの腕を磨いていきたいです。ラジコン、おもちゃではなくこれはメンタルスポーツだなとやればやるほど実感しています。



Ono Shotaro
小野 頌太郎
シニア・アナリスト

DX化で世界中の情報がこれまで以上に手に入りやすくなった気がします。それに合わせて上場企業の開示情報もますます充実してきています。今年はより多くの世界中にあふれるビックリを見つけ、ひふみのリターンに貢献していきたいです。



Katata Yuta
堅田 雄太
シニア・アナリスト

早寝早起きを継続したいです。昨年は在宅ワークが続き、朝の時間をダラダラと過ごすことが多くなっていたので、今年はメリハリをつけて最高の状態で仕事に臨むことを意識したいと思っています。手始めに昨年末から早朝ランニングを始めました。細々と継続していきます。



Senoh Masanao
妹尾 昌直
シニア・アナリスト

1月に入社しました。よろしくお願いします。まずはレオスの考え方を吸収すること。その上でリターン向上に貢献できる投資アイデアを提供すること。常に変化する環境を柔軟に受け入れるだけの余裕を持つことが目標。個人的には、コロナ禍でジムに行きづらい中、YouTubeで発見した家で行なうトレーニングを真似しながら、健全な精神と健康を維持していきたいです。



Tada Kensuke
多田 憲介
アナリスト

「脱力」がテーマです。すさまじいスピードで前進しながらも常にリラックスできている、そんな状態を目指します。



Miyake Kazuhiro
三宅 一弘
運用本部
経済調査室長

「三宅の目」のコーナーで、株式市場を中心に市場関連や投資環境情報をYouTubeを通じて情報発信しています。ストラテジストYouTuberとして評価を頂きながら長く続けるためには自身の体力、知力、活力、探究心などが不可欠だと思います。息切れすることなく土台をしっかりと固めていきたいですね。



Hashimoto Yuichi
橋本 裕一
マーケットエコノミスト

経済というものに改めて向き合い、理解を深めたいです。アカデミックな学びや、日々実体の観察を継続し、理論的にも実証的にも考察したいです。Web上でのセミナーやレポートなどお客様にもお伝えしていければと思います。

ひふみ投信の特色

「ひふみ投信」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

ひふみワールドの特色（ご参考）

「ひふみワールド」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を中心に選別して投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 株式の組入資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ④ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

投資リスク

■ 基準価額の変動要因

- マザーファンドを通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- 投資信託は預貯金等とは異なります。

■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられ、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。
カントリーリスク (エマージング市場 に関わるリスク)	当該国・地域の政治・経済情勢や市場の需給等に混乱が生じた場合、その影響を受けその影響を受け損失を被るリスクがあります。なお、エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり金利や相場等の変動により、元本欠損が生じる可能性があります。預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありませんが、証券会社を通じてご購入いただいた場合は投資者保護基金の保護対象となります。
- セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものではありません。

お申込メモ

	ひふみ投信	ひふみワールド（ご参考）
商品分類	追加型投信／内外／株式	追加型投信／海外／株式
当初設定日	2008年10月1日	2019年10月8日
信託期間	無期限	
決算日	毎年9月30日（休業日の場合、翌営業日）	毎年2月15日（休業日の場合、翌営業日）
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。分配金再投資専用のため、分配金は自動的に再投資されます。	
購入単位	1,000円以上1円単位の金額指定で受け付けます。	
購入価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り）	
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。	
換金（解約）単位	1口以上の口数指定または1円単位の金額指定で受け付けます。	
換金価額	解約の請求受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り）	
換金代金	請求受付日から起算して5営業日目から支払われます。	
購入・換金 申込受付不可日	－	ニューヨーク証券取引所または香港証券取引所のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行ないません。
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。	
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。	

お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用：ありません。

申込手数料・換金（解約）手数料・信託財産留保額 は一切ありません。なお、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

	ひふみ投信	ひふみワールド（ご参考）
運用管理費用 （信託報酬）	信託財産の日々の純資産総額に対して 年率1.078%（税込） を乗じて得た額 信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産から支払われます。	信託財産の日々の純資産総額に対して 年率1.628%（税込） を乗じて得た額
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%（税込）を乗じて得た額。（なお、上限を年間88万円（税込）とします。当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。） 日々計算されて、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%（税込）を乗じて得た額。（なお、上限を年間99万円（税込）とします。当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。）
その他費用・ 手数料	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。	

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ファンドの関係法人

委託会社：レオス・キャピタルワークス株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会
 受託会社：（ひふみ投信）三井住友信託銀行株式会社
 （ひふみワールド）三菱UFJ信託銀行株式会社
 販売会社：レオス・キャピタルワークス株式会社

各ファンドについてのお問い合わせ先



● RHEOS CAPITAL WORKS

レオス・キャピタルワークス株式会社
 コミュニケーション・センター
 電話：03-6266-0123 メール：cc@rheos.jp
 受付時間：（2020年4月6日より）営業日の10時～16時
 ウェブサイト：https://www.rheos.jp/

